

つなぐ



袋井特別支援学校
支援連携課便り ④
令和8年2月6日

『つなぐ』第4号は、本年度の交流籍を活用した交流及び共同学習の紹介をします。お子様が地域の小・中学校の一員として過ごす「交流籍」は、慣れ親しんだ地域の中に「自分のことを知っている友達」を増やし、将来にわたって地域で生活する安心の輪を広げていく大切な機会です。

「小・中学校に行って、どんな活動をするのかな。」「友達とかかわれるかな。」「迷惑をかけないかな。」など様々な不安があると思いますが、本年度交流籍を活用した交流を行った児童生徒や保護者の皆様からは「楽しかった。」「友達と一緒に活動できてうれしかった。」などの感想が寄せられています。交流籍校の児童生徒や教職員からも「初めは緊張したけれど、お話してきて楽しかった。」「いろいろなことをがんばっていることが分かって感心した。」「とても勉強になった。」「また是非来てほしい。」などの感想が寄せられました。

本校と交流籍校の教職員が事前に打ち合わせを行い、お子様の特性に合わせた無理のない交流をサポートいたします。来年度、「交流籍」を活用した交流及び共同学習を活用してみませんか？



<本年度、交流を行った3人の様子を紹介します>

小学部6年生 K・Kさん

直接交流

小学校の6年生と交流を行いました。交流日までに本校児童のことを知ってもらうため、事前に児童と保護者が自己紹介カードを交流籍校に届けました。交流当日に行った自己紹介クイズでは、正解した友達に手作りのありがとうカードをプレゼントすると、受け取った友達から「かわいい。」と喜ぶ声が聞かれました。チームに分かれて行ったボッチャでは、交流籍校の児童が本校児童のボールを投げるレーンの向きを調整してくれるなど、協力して取り組むことができました。勝ったときには児童とハイタッチをし、とても盛り上がりました。友達の楽しそうな声に、本校の児童からも笑顔があふれる温かい交流になりました。



また、交流籍校では事前に特別支援学校や障害をもつ人たちに関する学習を行っていたこともあり「交流の前は一緒に活動できるか不安だったけれど、実際に交流をしてKさんの笑顔を見られて安心した。」「障害があっても一緒に楽しめることが分かった。またやりたい。」など感想をいただきました。

保護者の方も、「6年生で初めての交流ということで不安もあったけれど、子どもたちが自然に関わってくれて本人も楽しそうにしている姿を見て、安心しました。」と、同学年の地域の友達との触れ合いを喜んでいらっしゃいました。(K・Kさん担任)

小学部 I・Tさん

間接交流

自己紹介と学習の様子を手紙にして送り合いました。自己紹介は、好きなことやキャラクター、家の近くをよく行く店を紹介しました。交流籍校児童からも同様の内容で手紙を送ってくれました。お互いよく行く店が同じであったり、家から近い店であったりすると「同じ地域に住んでいる」ということを実感できました。

学習の様子は、頑張っていることや楽しかった学習の写真を貼って送りました。交流籍校児童は校外学習の様子など絵を描いて送ってくれました。

手紙や作品のやり取りを通して、同じ地域に住んでいる同級生のことを知る機会、身近に感じる交流となりました。(I・Tさん担任)

中学部 K・Hさん

共同学習

中学3年生と交流を行いました。「社会」の授業では、『〇〇市への要望や困り事を年齢別に調べて発表しよう』をテーマに、グループ学習をとおして調べたことを発表し合う活動を行いました。事前に保護者へインタビューをしたり、自分の要望をまとめたりし「公共交通機関を増やして欲しい。」「近くに病院があると良い。」と意見を述べることができました。交流籍校の生徒も積極的にKさんに意見を聞きに行ったり、Kさんのメモをとる速さに合わせて話したりする姿が見られました。生徒たちも普段より、張り切っていたと、担任の先生も教えてくださいました。(K・Hさん担任)



「交流籍」を活用した交流及び共同学習



令和7年度は、小学部40人、中学部9人の児童生徒が「交流籍を活用した交流学習及び共同学習を実施しました。

実施した交流籍小中学校は延べ29校です。

	小学校 22校	中学校 7校
磐田市	磐田北小学校、磐田中部小学校 磐田西小学校、磐田南小学校 向笠小学校、岩田小学校 福田小学校、竜洋西小学校 豊田東小学校、東部小学校	城山中学校、南陽中学校 南部中学校、磐田第一中学校
袋井市	袋井南小学校、袋井西小学校 袋井北小学校、袋井東小学校 三川小学校、山名小学校 高南小学校、浅羽北小学校 浅羽東小学校	周南中学校、袋井中学校
森町	宮園小学校、森小学校	
掛川市	横須賀小学校	大須賀中学校

